

〈企画部〉

シンポジウム 「高齢社会における成年後見制度の展望」開催について

共催 関東学院大学法学部 神奈川県行政書士会

1. 趣旨

厚生労働省のホームページによると、成年後見制度とは「知的障害・精神障害・認知症などによってひとりで決めることに不安や心配のある人が、いろいろな契約や手続をする際にお手伝いする制度」と明記されています。

日本は高齢社会を進んでいます。厚生労働省の調査によると、2025年には約471万の認知症の高齢者が存在し、団塊ジュニア世代が65歳以上になる2040年には、約584万人に達すると推計しています。そのほか、知的障害や精神障害の増加も予測されています。その意味で、成年後見制度は重要な取組みになります。

しかし、現時点において、成年後見制度に課題があります。例えば、成年後見制度の利用者数が増加しなかったり（そもそも制度が知られていない）、成年後見に対する各自治体の取組みに差があったりします。

本シンポジウムでは、実践的な観点、学術的な視点から、高齢社会における成年後見制度の課題を踏まえた上で、今後の望ましい展望を検討します。実践と理論の架橋を目指して進めます。

2. 日時・場所

日時 2024年9月7日（土） 13時30分～15時40分（13時30分から会場に入れます）

場所 横浜・関内キャンパス 1002教室（JR関内駅南口駅前 徒歩約2分、）

3. 主催・後援

主催 関東学院大学大学院法学研究科・神奈川県行政書士会共催

後援 関東学院大学地域創生実践研究所

神奈川県行政書士会関連団体の後援名義（協議中）

4. 講演会当日の流れ

13時30分 開会 挨拶 関東学院大学大学院法学研究科委員長 大原 利夫

13時35分～14時00分（25分）

基調講演 「成年後見制度の現状と課題」

田後 隆二 神奈川県行政書士会会長

公益社団法人コスモス成年後見サポートセンター理事長

同

神奈川県支部 支部長

14時00分～14時10分（10分） 休憩

14 時 10 分～15 時 40 分 (90 分)

パネルディスカッション「高齢社会における成年後見制度の展望」

コーディネーター

大原利夫 関東学院大学大学院法学研究科委員長

パネラー

海老原楓 小田原市福祉健康部高齢介護課職員（法学研究科地域創生専攻 2 年生）

田後隆二 神奈川県行政書士会会長

公益社団法人コスモス成年後見サポートセンター理事長

同

神奈川県支部支部長

岡本祐樹 神奈川県行政書士会理事・総務部長

公益社団法人コスモス成年後見サポートセンター神奈川県支部幹事

15 時 40 分 閉会 挨拶 神奈川県行政書士会副会長 大和めぐみ

以上

研修会へのお申し込みは、ホームページからのご利用にご協力ください。

研 修 会 ・ 講 演 会 名	研修会申込番号：デジタル化推進 WG24-01 ＜デジタル化推進ワーキンググループ＞ 「神奈川県デジタル行政について」の研修会
内 容	行政書士周辺でもデジタル化推進が叫ばれるなか、講師に神奈川県デジタル行政担当局長 市原 敬 氏をお招きし、身近な地方自治体である神奈川県のデジタル行政を知り、神奈川県と行政書士との協働について探ります。 ー神奈川県のデジタル行政についてー 神奈川 DX 計画 生成 AI の利用ガイドラインなど
日 時	令和6年9月5日(木) 開場：13：30 開始：14：00 ～ 終了：15：30（予定）
会 場	神奈川県行政書士会 大会議室 （横浜市中区山下町2）
講 師	神奈川県デジタル行政担当局長 市原 敬 氏
費 用	無料
申込期限	令和6年8月29日（木）午後5時まで（定員に達し次第締め切ります）
対 象 者	神奈川県行政書士会会員及び補助者
定 員	先着順 50名
備 考	会員専用 HP からお申し込みにご協力下さい。 都合により、予告なく講師・講義内容を変更する場合があります。 予めご了承下さい。